

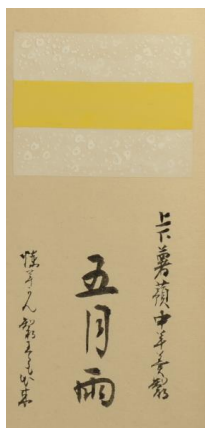
報道関係者の皆様へ

2016 年 5 月吉日

とらや 東京ミッドタウン店ギャラリー

## 第 37 回企画展 「雨を感じる」

とらや東京ミッドタウン店ギャラリーでは、2016 年 6 月 2 日（木）より、雨に焦点をあてた企画展を開催いたします。



大正 7 年（1918）の菓子見本帳より  
（左）『五月雨（さみだれ）』  
（右）『小佐女菊（こさめぎく）』

## ■企画展基本情報■

名 称 : 雨を感じる  
場 所 : とらや東京ミッドタウン店内 ギャラリー  
(東京都港区赤坂 9-7-4 D-B117 東京ミッドタウン ガレリア地下 1 階)  
電話番号 : 03-5413-3541  
会 期 : 2016 年 6 月 2 日（木）～10 月 3 日（月）  
時 間 : 11:00～21:00 ※無休（東京ミッドタウン休業日に準じます）  
協 力 : 高橋順子（敬称略）  
空間構成協力：建築家 前田圭介（敬称略）

## ■概要■

日本は世界の国々の中でも、降水量が多いといわれています。春から夏へ変わるときの梅雨、夏の終わりから秋にかけての秋雨、秋の末から冬の初め頃に降る時雨など、四季折々に雨の表情も変わります。

ときに恵みとなり、ときに災いともなる。ときに心待ちにし、ときにうっとうしくも感じる。

雨は、古くから日本人にとって、身近な存在だったといえるでしょう。

それは、400 語以上にもなる、雨にまつわる名前からもうかがうことができます。

本展では、さまざまな雨の名前を中心に、雨を表現した文学や絵画、そして菓子をご紹介します。

先人たちの感性豊かな世界をお楽しみください。

## ■内容の一例■

- ◆ 雨の名前：「養花雨（ようかう）」「天泣（てんきゅう）」「猫毛雨（ねこんけあめ）」「時雨（しぐれ）」など、雨の名前を 20 種ご紹介します。
- ◆ 文学で表現された雨：雨を描写した文章を、6 種の書物から抜粋し、ご紹介します。
- ◆ 和菓子で表現された雨：『五月雨』『夕立』『小佐女菊』など、とらやに残る菓子見本帳より、雨をモチーフにした絵図を 6 種ご紹介します。

企画展会場では、日本の浮世絵の雨の表現手法に想を得て、ワイヤーで雨を表現します。その密度や角度を変えることで、雨の強弱・種類・雰囲気表現。和傘も吊るし、雨を感じられるようなディスプレイをお楽しみいただけます。

## ■限定販売商品■

- ◆ 湿粉製『五月雨（さみだれ）』 初出年：明和 7 年(1770)  
白の湿粉製で黄色の羊羹製を挟み、五月雨の情緒を抽象的に表現しました。  
販売期間：6 月 2 日（木）～6 月 30 日（木）、 価格：税込 454 円
- ◆ 羊羹製『小佐女菊（こさめぎく）』（白餡入） 初出年：明治40年（1907）  
「小雨」は平安時代の漢和辞書『和名類聚抄(わみょうるいじゅしょう)』では「古佐女」の字があらわれており、菓銘もこれになったと考えられます。お菓子の意匠は小雨にぬれた菊の花を思わせます。  
販売期間：9 月 1 日（木）～10 月 3 日（月）、 価格：税込 486 円



『小佐女菊』

## ■協力■

高橋順子(たかはしじゅんこ)

詩人。1944年千葉県生まれ。東京大学仏文卒。著書に詩集『時の雨』（読売文学賞）、『お遍路』、『あさって歯医者さんに行こう』、『海へ』（藤村記念歷程賞、三好達治賞）、『高橋順子詩集』、短編集『海へびのぬけがら』、エッセイ集『一茶の連句』、『水のなまえ』、佐藤秀明写真による『雨の名前』、『風の名前』、『花の名前』、『月の名前』、『恋の名前』など。

### 【とらや東京ミッドタウン店】（2007 年オープン）

和菓子だけではなく、和の様々な魅力や価値も広くお伝えしたいという想いから、ギャラリーを併設し企画展を開催しています。想いを同じにする方とパートナーを組み、ふろしきや漆、こけしなどをテーマに、これまで企画展を実施してまいりました。

これからも、日本文化を今の時代にあった新しいかたちで発信していきます。



＊取材に関する問い合わせ先＊

株式会社 虎屋 社長室 広報課 担当：奥野容子

Tel:03-3408-4128 E-mail: [kouhou@toraya-group.co.jp](mailto:kouhou@toraya-group.co.jp)